



Agri Note

【アグリノート】
家庭菜園情報

菜園

JA福井県

梅雨の季節になりました。福井県を含む北陸地方の平年の梅雨入りは6月11日頃となっています。梅雨に入ると雨の日が多く蒸し暑い日が続きますが、夏に収穫を迎える野菜にとっては生育が旺盛な時期となり、これからの管理が非常に重要になります。

今回は大玉トマト・ナス・ネギの管理ポイントと雨への対策を中心にご案内させていただきます。

1. 大玉トマト

■ わき芽かき

出てきたわき芽はなるべく小さいうちにとります。(病気の感染をふさぐためハサミは使用しないでください)

特に花房直下のわき芽は生長が早いので注意してください。



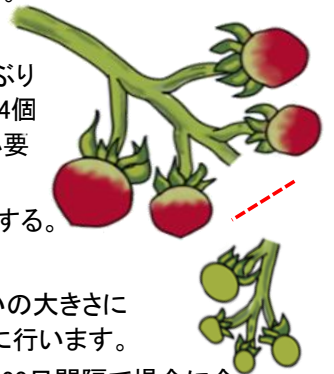
■ 摘果

1つの果房に実をつけすぎると、小ぶりになり味も落ちるため、1房あたり3〜4個に摘果します。(ミニトマトや中玉は必要ありません)

- 形の悪いものなどを中心に摘果する。

■ 追肥

- 1段目の果実がピンポン玉くらいの大きさになった頃、1回目の追肥を株間に行います。
- 2回目以降の追肥は15日〜20日間隔で場合に合わせ、肩部や通路に行う。



2. ナス

ナスは肥料を多く必要とする作物です。追肥は生育状況を見ながら行いましょう。

■ 追肥

- 1回目は、1番果が肥大したタイミングで行う。
- その後は、2週間に1回程度実施する。
- 追肥の量は1株あたり30g程度(一握り)

1回目の追肥は株間に行いますが、その後は株元から徐々に離していくように施用しましょう。



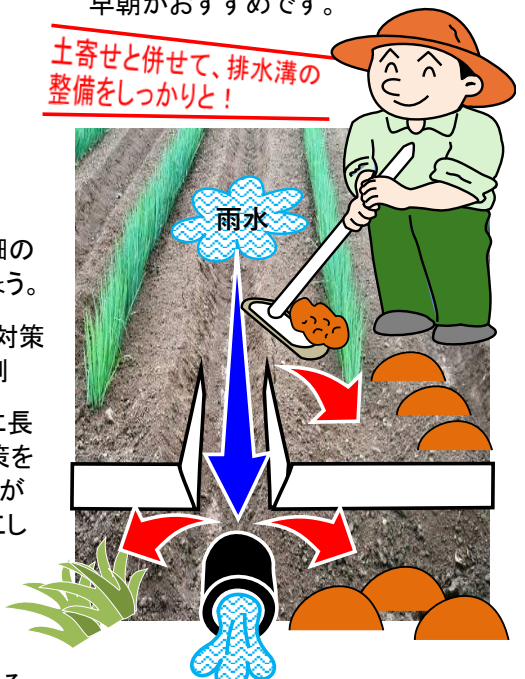
3. ネギ

ネギは生育状態を見ながら、土寄せの際に追肥を行ってください。

■ 土寄

- 株元に水が溜まらないように土寄せを行う。
- 土寄せを行う時間帯は地温の低い早朝がおすすめです。

土寄せと併せて、排水溝の整備をしっかりと!



4. 今後の降雨に向けて

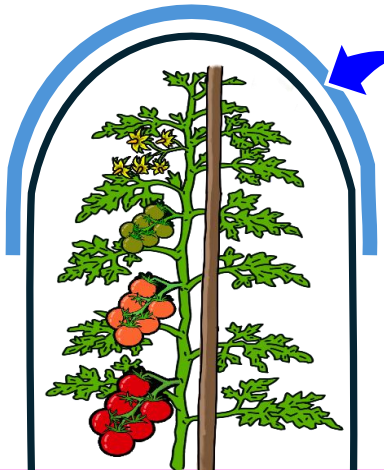
梅雨入り前に、雨による野菜への発病と畑の湿害(生理障害)を防止する対策をしましょう。

- ビニール(簡易ハウス)などの雨よけ対策
野菜が雨に濡れ難くなり発病を抑制

雨よけのできない露地栽培では、畝間に長時間水が溜まっている場合は、排水対策を行いましょう。浸水していると、野菜の根が酸欠状態になり、根腐れや根痛みを起こしやすくなります。

■ 排水対策のポイント

- 晴れていても水が溜まっている
- 排水口が雑草や土で埋まっている
- 排水溝を掘っていない、排水溝と排水口が繋がっていない



今回のアグリノート菜園は、大野支店(営農経済課) 堺井が担当しました。